

**2020年度 通期：2020年4月～2021年3月**

# 決算説明資料

(ハイライト情報)

2021年5月11日

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。本資料において当社の将来の内容・業績を保証するものではありません。

**蝶理株式会社**

## 決算概要のポイント

～中期経営計画「Chori Innovation Plan 2022(CIP2022)」初年度スタート～

### ▶業績概要

#### ①前期比減収減益

- ・中国澄星集団グループに対する売掛債権51億円全額を貸倒引当金繰入額として計上(P3)。
- ・経常利益ROAおよびROE(当期純利益)は一時的に低下。  
Cf.経常利益ROA：4.1%(前期7.5%)、ROE(当期純利益)：2.2%(前期11.0%)

#### ②本業の事業収益は回復、経費削減効果もあり第2四半期より増益基調。

- ・中期経営計画「CIP2022」の新たなステージ「経常利益100億円台常態化」の基盤を固める。 Cf.貸倒引当金繰入額を除く経常利益97億円

### ▶財務基盤

- ・自己資本比率 53.2% (貸倒引当金繰入処理後も)高水準を維持
- ・フリーキャッシュフロー：+55億円 ネット有利子負債：-155億円(前期比-36億円)

### ▶株主還元

- ・期末配当金は2021年2月8日公表通り。  
期末配当23円/株⇒年間配当37円/株(配当性向72.9%)

### ▶トピックス

- ・繊維事業の大型M&Aを実行  
住友商事(株)の子会社で繊維商社である(株)スミテックス・インターナショナルの子会社化を発表(2021年6月1日クロージング・子会社化予定)。

## 業績内容（前期比）

## POINT

- 新型コロナウイルス感染症の拡大・まん延により国内・世界経済は不透明な情勢下で終始。
  - ⇒ 貸倒引当金繰入額51億円の販売費及び一般管理費計上(第4四半期で27億円を追加計上(P.3))により、各段階利益で減益。
- 売上高は減収も第3四半期より回復。本業の収益力は第2四半期より回復(P.4)。
  - ⇒ 貸倒引当金繰入額を除いた場合の経常利益は97億円

(単位：億円)	19年度	20年度	増減額	前回予想 (2021年2月8日公表)
売上高	3,294	2,162	-1,131	2,100
(収益認識基準適用後*)	2,485	2,162	-323	
売上総利益	283	264	-20	
販売費及び一般管理費	201	227	+26	
営業利益	82	37	-46	60
経常利益	87	47	-40	64
親会社株主に帰属する 当期純利益	61	12	-49	30

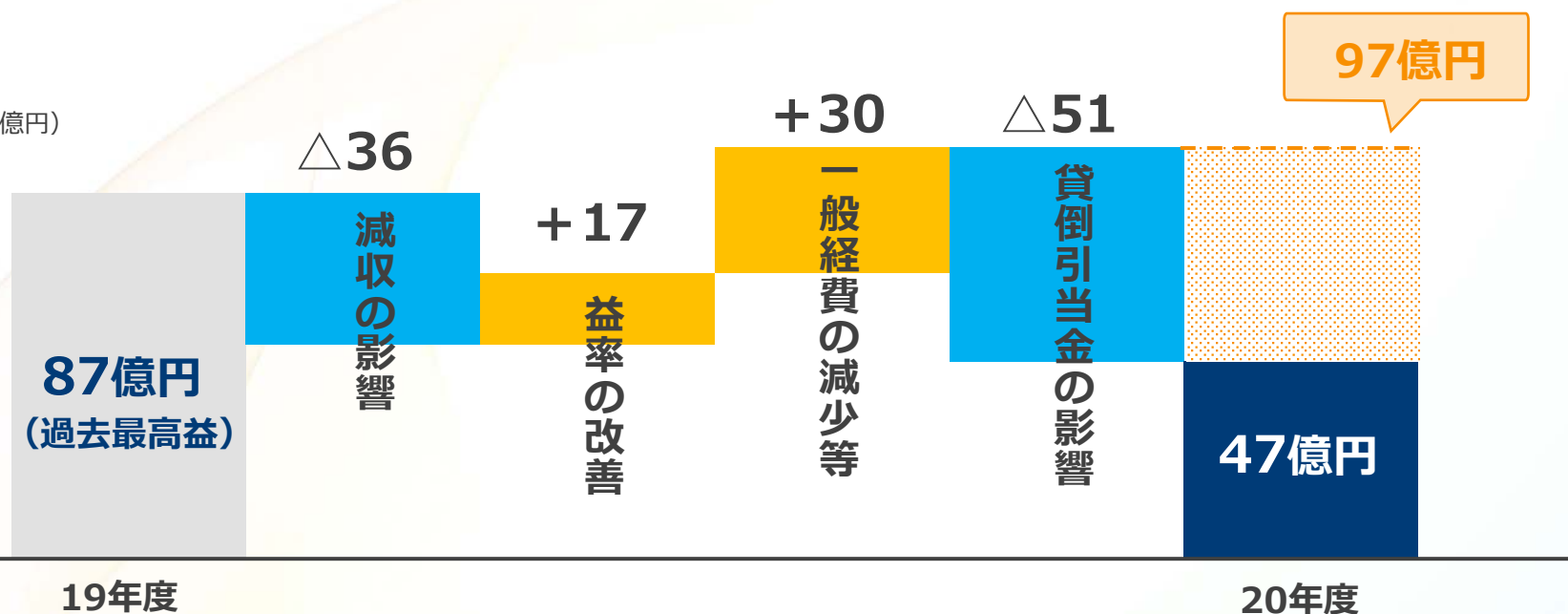
\* 20年度1Qより、企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」及び企業会計基準適用指針第30号「収益認識に関する会計基準の適用指針」(2018年3月30日公表分)を適用しております。

## 貸倒引当金繰入額の計上

- ① 連結子会社の澄蝶株式会社は中国の化学品製造業者・澄星集団グループに化学品原料を販売。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、澄星集団グループの主力事業である石油化学事業が低迷し、資金繰りが不安定に陥ったため、2020年4月頃から澄蝶株式会社への原料購入代金の支払が遅延。
- ② 当社グループは支払訴訟の提起など速やかな法的回収手続きを実行（現在進行中）。第1四半期において、売掛債権の回収状況及び保全手続きの進行状況等を勘案し、総債権額の50%相当の貸倒引当金繰入額2,474百万円を計上。
- ③ 2021年2月から3月にかけて、中国の大手銀行が澄星集団グループ2社に対して再生型破産手続きを申立て、江蘇省江陰市の裁判所が受理。
- ④ 2021年4月に、再建型破産手続きに係る第1回債権者集会が開催。破産管財人から資産状況の報告がなされた。  
⇒各社の財政状態、取得済の集合物譲渡担保の見積価値や再建型破産手続きの進捗等を総合的に勘案し、会計上の処理として売掛債権5,085百万円全額に対し、貸倒引当金繰入額を計上(第4四半期に2,708百万円を追加)。
- ⑤ 今後、澄星集団グループの再建型破産手続きの動向を注視し、再建計画からの弁済や取得済の集合物譲渡担保権からの回収に全力を挙げる(回収分は今後の利益計上となります)。  
(円貨換算の債権額等は為替レートにより変動しています)

## 経常利益の増減要因

(単位：億円)



## 四半期業績推移

(単位：億円)	2019年度					2020年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	年度累計	1Q	2Q	3Q	4Q	年間累計
売上高	832	812	851	799	3,294	490	532	552	589	2,162
(収益認識基準適用後*)	621	631	617	616	2,485	490	532	552	589	2,162
営業利益	23	23	21	15	82	-9	25	24	-3	37
経常利益又は損失 (除く、貸倒引当金繰入額)	24	25	23	15	87	-7	25	25	3	47
親会社株主に帰属する 当期純利益又は損失	16	16	15	14	61	-12	14	16	-6	12

# セグメント業績

## 売上高

(単位：億円)

	19年度	20年度	増減額
繊維	1,145 (1,064)	901	-244
化学品	1,506 (1,395)	1,233	-273
機械	641 (26)	27	-614
その他	1	1	-0
合計	3,294 (2,485)	2,162	-1,131

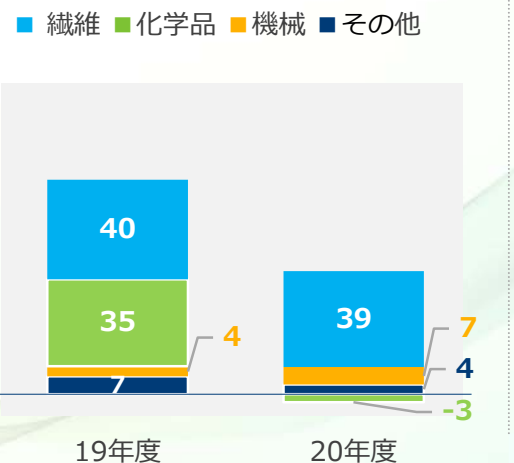
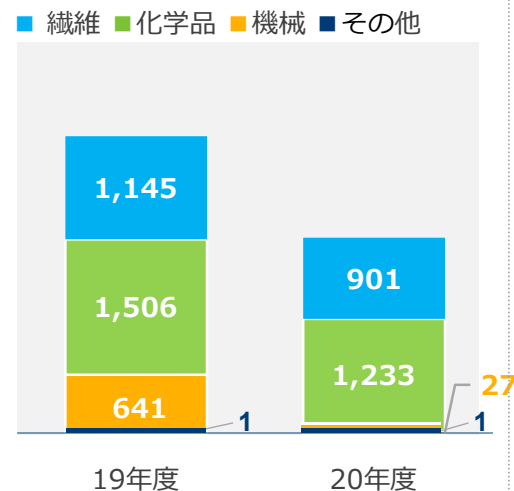
\* ( )内は「収益認識会計基準等」適用後の金額を記載しております。

## 経常利益又は損失

(単位：億円)

	19年度	20年度	増減額
繊維	40	39	-2
化学品	35	-3	-38
機械	4	7	+3
その他	7	4	-3
合計	87	47	-40

\* 「その他」には調整額を含んでおります。



## 繊維…減収減益

**堅調**

衛生材・海外資材

**低調**

国内衣料

## 化学品…減収・経常損失

**堅調**

ライフサイエンス  
ファインケミカル

**復調**

有機化学品

**低調**

電子材料

**損失**

貸倒引当金繰入額  
51億円計上

## 機械…減収増益

**堅調**

車輛

## 形態別売上高

### POINT

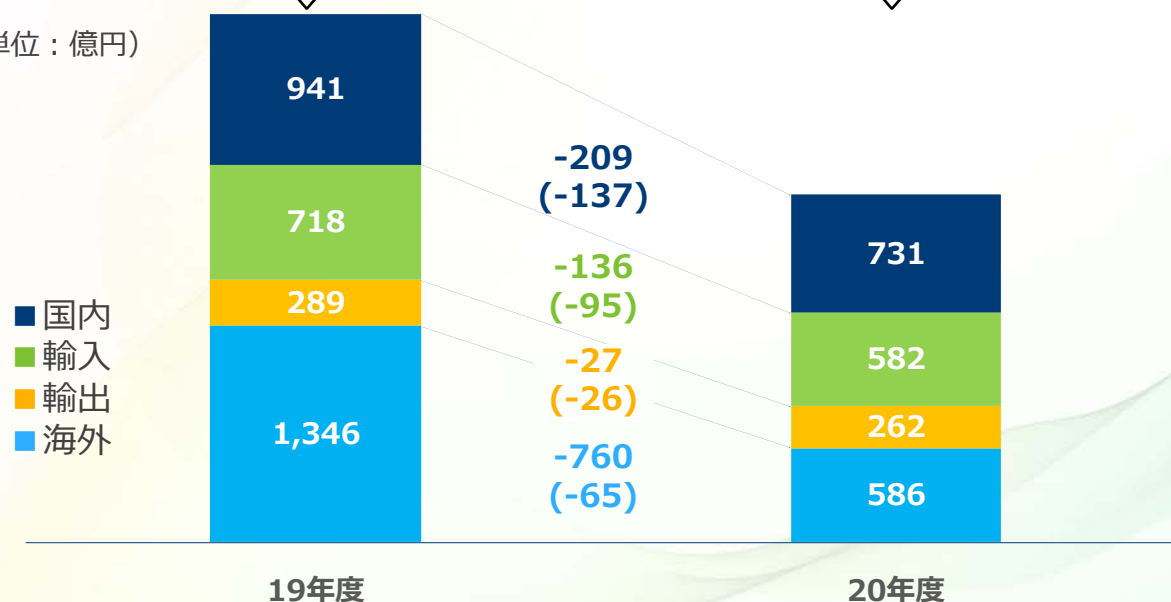
- 貿易比率 : 66.2% (前期比-5.3%)
- 国内売上高 : 繊維事業・化学品事業ともに減収
- 貿易取引 : 全セグメントにおいて減収

売上高 3,294 (2,485)  
 貿易取引 2,353 (1,617)  
 (貿易比率) 71.4% (65.1%)

売上高 2,162  
 貿易取引 1,431  
 (貿易比率) 66.2%

売上高 -1,131 (-323)  
 貿易取引 -922 (-186)  
 (貿易比率) -5.3% (+1.1%)

(単位：億円)



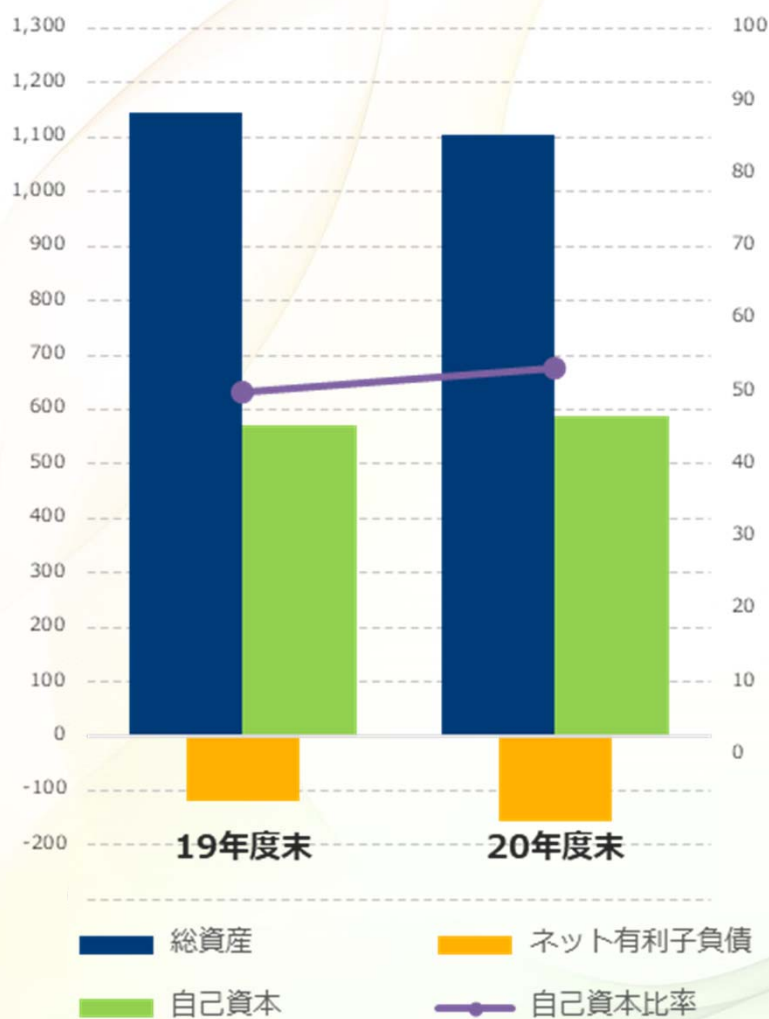
<b>国内売上高</b>	日本国内の売上額
<b>輸入売上高</b>	海外から日本国内への売上額
<b>輸出売上高</b>	日本国内から海外への売上額
<b>海外売上高</b>	海外取引の売上額

\* ( )内は「収益認識会計基準等」適用後の金額を記載しております。

## 財政状態

(単位：億円)

(単位：%)



## 財務健全性

(単位：億円)

	19年度末	20年度末	増減
総資産	1,144	1,106	-38
ネット有利子負債	-120	-155	-36
自己資本	572	588	+16
自己資本比率	50.0%	53.2%	+3.2%

## 収益性・資本効率

	19年度末	20年度末	増減
ROA (経常利益ベース)	7.5%	4.1%	-3.3%
ROA (当期純利益ベース)	5.2%	1.1%	-4.1%
ROE (当期純利益ベース)	11.0%	2.2%	-8.8%



## キャッシュ・フローの状況

## POINT

- 営業CF：基礎収益の確保等により、+59億円(貸倒引当金計上の影響なし)
- 投資CF：事業投資による支出等により、-4億円
- 財務CF：配当金の支払等により、-9億円

(単位：億円)

	19年度	20年度	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	29	59	+30
投資活動によるキャッシュ・フロー	0	-4	-4
財務活動によるキャッシュ・フロー	-19	-9	+10
換算差額	-0	-0	-0
キャッシュ・フロー合計	9	46	+37
現金及び現金同等物の期末残高	130	176	+46

## 2021年度業績予想

## POINT

- 新型コロナウイルス感染症の再拡大により、先行きは依然不透明。
- 中期経営計画「Chori Innovation Plan 2022」を着実に推進。  
 経常利益は100億円を臨む。 経常利益ROA：9.0%、ROE(当期純利益)：11.0%  
 Cf.2022年度(最終年度) 経常利益計画110億円
- コロナ禍で激変する社会・経済環境へ即応すべく、「守り」を一層徹底、一方、持続的成長のための基本戦略を推進。⇒ (株)スミテックス・インターナショナルを連結結合

(単位：億円)	20年度 実績	21年度 予想	増減額	増減率
売上高	2,162	2,800	+638	+29.5%
営業利益	37	95	+58	+159.3%
経常利益	47	100	+53	+114.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	12	68	+56	+445.2%

## 2020年度配当金

### ① 期末配当

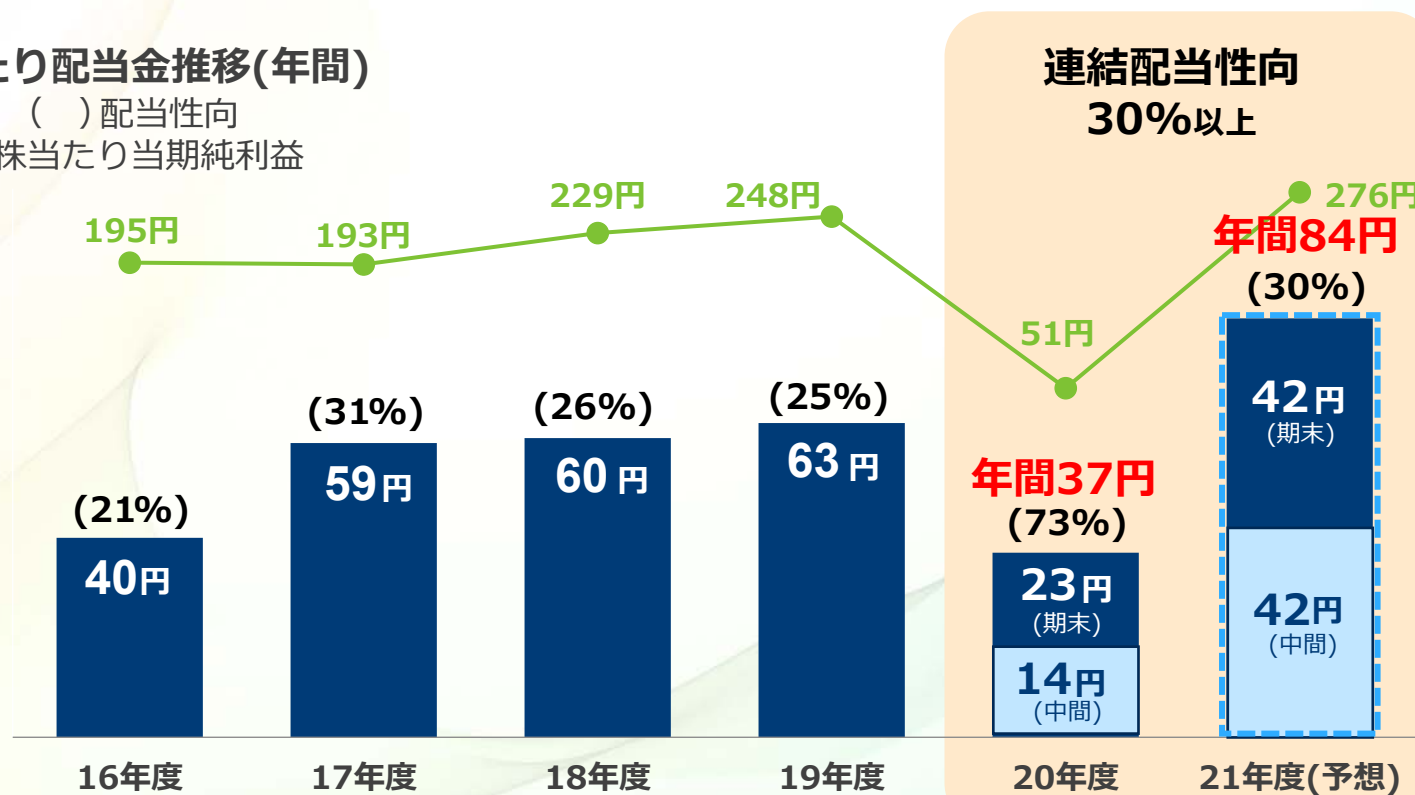
貸倒引当金繰入額を計上しましたが、足もとの業績動向並びに堅固な財務内容を総合的に判断し、2021年2月8日公表通りの期末配当23円(年間37円)を実施。

### ② 配当の基本方針

- 成長戦略への投資資金の確保に留意しつつ、機動的な利益還元と経営・財務の安定性確保の観点から親会社株主に帰属する当期純利益の水準に応じた業績連動型配当を実施。
- 配当方針：2020年度から配当性向を25%以上から『**30%以上**』へ引き上げ。

### ③ 1株当たり配当金推移(年間)

- 配当金 ( ) 配当性向
- EPS：1株当たり当期純利益



あなたの夢に挑戦します。

蝶理株式会社